

地歴公民(地理) 一橋大学 (前期) 1/1

<全体分析>

試験時間 120分

解答形式

客観式1個, 記述式1個, 論述式9題* (150字×5, 125字×2, 100字×2 計1200字)

*うち客観式や記述式を含む論述式が2題

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

昨年度無くなった客観式と記述式が復活したが, 全体としての分量は昨年度とほぼ同じである。また, 教科書だけでなく, 新聞などのニュースにも注意しないと解答の方向性が見いだせないような新しい話題からの出題が, 例年どおり今年度も見られた。

出題の特徴

課題文を読ませたり資料(図表など)を読み取らせたりする出題形式は例年どおりである。一昨年度まで多用されてきた資料(一昨年度は図4つ, 表4つ)が, 昨年度は3つ(図1つ, 表2つ)に減少していたが, 今年度は5つ(表5つ)使用された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	客観式 論述式	都市農業	問1は「不法占拠」と土地所有率が低いことを関連付けることがポイントである。問2は都市の持続可能性とコンパクトシティの形成を結びつけることが難しい。問3は本文の内容を敷衍してまとめよう。	標準
II	記述式 論述式	アフリカとラテン アメリカの開発	問1はよく取り上げられる地域・テーマであり, 高得点を目指そう。問2・問3はいずれも新しい話題であり, ここでどのくらい記述することができたかどうかで差がついたと思われる。	標準
III	論述式	子供の遊び	問1は変質した後の遊び場も大人が想定していない場所かどうかで悩む。問2は読み取った表の内容をそのまま記述すればよい。問3の計画と遊びの関係では, 計画されていない遊びの重要性に気付きたい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 近年は高校地理で学習する知識で対応できる問題が増えているが, そのレベルから一步踏み込んで考える習慣を身につけておくこと。また, 難解な文章が多いので, 正しく読み取る訓練をしておこう。
2. 地域では, 東~南アジアやアフリカを中心とする発展途上地域が, 分野では, 農業, 鉱工業, 貿易や交通・通信, 観光関係が, 一橋大学入試の頻出テーマである。
3. 100字前後のコンパクトな論述練習を積むとともに, 今年度は出題されなかったが200字以上の論述の訓練も行っておくこと。文章作成能力も重要であり添削指導を受けることが望ましい。
4. 統計資料を判定する訓練を行うとともに, 資料の中から「ポイントとなる部分」を早く見抜く能力を養っておこう。また, 統計と地図を結びつけて体系的に捉える練習をするとよい。
5. 歴史教科書や新書などを利用して, 一橋大学入試でよく問われる近代の史実も学習しておくこと。また, 白書・新聞などを活用し, 新しいテーマや話題についても理解を深めておこう。